



東京都立つばさ総合高等学校様のメッセージ

環境管理責任者 荏司孝志 教諭
「環境という側面では企業も学校も同じ方向を見ているだろう」と確信して、荏原製作所環境推進室にその思いを伝えたのが2005年6月のことでした。本校は2004年3月に都立高校で初めてISO14001の認証を取得し、生徒の環境意識向上のための新しい取り組みを模索しているところでした。環境推進室の担当者は、我々の思いを受け止めてくださり、現在ではいろいろな機会を提供して頂いております。

荏原製作所羽田事業所が8月に実施した「納涼祭」には生徒・教職員が参加し、環境についての発表や、世界の子供たちの絵を見せていただきました。10月には社員の方を対象とした「間伐体験と自然観察教室」に生徒・教職員も加えていただき、生徒はもとより教職員も大いに満足しました。

11月には、本校生徒が企画する都内の高校生対象の「第2回高校生環境サミット in

Tokyo」に参加していただきました。このサミットは、企業、自治体、大学、地域環境ボランティアの方々と高校生が一同に会し「環境への思い」を語り、議論し、協力していくことを目的としています。企業には第2回からご参加いただき、荏原製作所には今後のサミット運営に新たな可能性を与えていただいたと思っています。ISOを中心とした本校の活動はまだ始まったばかりです。荏原製作所とのお付き合いを通じ、地域と共に歩む環境教育活動をより一層充実していきます。



第2回高校生環境サミット in Tokyo

荏原グループ環境レポート2005に寄せられたご意見と対応

荏原グループ環境レポートにはアンケート用紙を同封しています。

また、荏原のホームページからもご意見をお寄せいただけるようにしています。2005年版に対しては、社外から13人、荏原グループ社員102人からアンケート回答が寄せられました。

2005年版へのご意見に対し、2006年版には次のような改善、工夫をしました。

表紙は2004年版までの子供たちの絵の方が良いという声が複数ありました。力作が数多く寄せられたので、子供たちの絵を表紙に採用しました。

文字を大きくして読みやすくしました。

グループ会社まで対象とした点に好感をいただきましたので、更に多くのグループ会社の取り組み成果を掲載しました。

全体目標に対しての各取り組みの成果がわかりづらかったので、20～21ページの中長期環境ビジョンに関する活動の掲載ページを示しました。

昨年版は60ページでボリュームが多いという意見が複数あったので、今回は50ページにまとめ、簡潔な報告書に努めました。

2005年版では、第三者所感をいただきました。ご期待に沿うべく努力しております。2006年度版でも、同じく(株)トーマツ環境品質研究所様より第三者所感をいただきました。